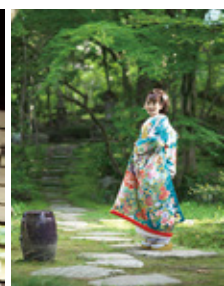




文也さん & 春菜さん「金華糖祝言」。宇多須神社にて挙式。雪のひがし茶屋街を花嫁道中で歩み、「十月亭」にて「金澤町屋和婚」。砂ジャリに見立てられた米、庭木のブロッコリー、庭石の大豆は、新郎家で丹精込めて作られた農作物。雛人形と金沢に伝わる砂糖菓子「金花糖」を飾り「春待ち」の季節を織り込んだ。中右/加賀水引でオリジナルデザインをした「雪の結晶」を綿帽子に。中左/プランナーが和ごころを大切に和装で進行をつとめる。



竜太さんと静香さん「紙手毬祝言」。兼六園に隣接する石川県指定名勝「西田家庭園玉泉園」にて。指定文化財の茶室「雪亭露地」など、由緒ある地で美しい写真を。敷地内にある「かなざわ玉泉邸」にて、家族だけの祝いの食事会も行った。なお玉泉園の名は、前田利長正室に由来。

右/紀彦さん & 沙絵さん「花の丸祝言」。金澤つまみ紗衣句末広ブーケはリングピローにもなる。



左/崇さんと夏代さん「舞桜祝言」。石川門の満開桜の元で、ロケーションフォト。季節の花々を活かした撮影も、「金澤syugen」ならでは。



義男さんと緑さん「祝龍祝言」。ひがし茶屋街で、愉快なトリック写真も撮影。「十月亭」での人前式は温かく感動的な祝言となった。

下/和也さんと雅さん「雪椿祝言」。両家の名字から「椿」と「椿」をモチーフにクリスマス色もさしこんだ。藤が丘公園の太鼓橋に椿咲くデザインの羊羹で「金箔の義」は、「みなさんにも幸せの星が舞い降りるように」とナレーションで新郎新婦が金箔をふりまいた。金澤つまみ紗衣句の手鞠ブーケとかんざしは新婦の好きな色でオリジナルデザイン。



哲也さんと由佳さん「真珠星祝言」。白山比咩神社にて挙式、和田屋にて祝言。農業を通して出逢った二人が初めて作った茄子・きゅうり・トマト・とうもろこし・しそを加賀水引でデザインしたオリジナル野菜畑こも樽で「鏡開き」。稲穂と運楾畑を描いた羊羹などオリジナルデザイン品で大地と自然を愛する二人を表現した。



左/賢一郎さんと由美子さん「鈴花祝言」。猫好きの二人は、猫の日に挙式。ウエディングケーキには鈴モチーフの餡細工など、随所に猫と鈴をモチーフに。古来から鈴には魔除けの力があり、幸せを呼ぶと言われている。花嫁を彩った金澤modern水引の手鞠ブーケは感謝の品として祖母に贈られた。上/真一さんと志保さん「silik」フォト。金沢21世紀美術館で「新たなる旅立ち」を表現した。

Produce

金澤につたわる伝統の祝言を現代的アレンジで甦えらせる。

プロデュース

金澤syugen

金沢に伝わる古事や伝統、また風情ある景色や街並みなど、この地ならではの素材を活かし、参加者の心を温める「奇跡のような一日」を生み出すのが「金澤syugen」だ。テーマに沿った演出によって、二人の物語を表現。新郎新婦の婚礼衣装を描く「金澤祝言ごぼし」や「金澤つまみ紗衣句」「金澤modern水引」で作るブーケやかんざし、こも樽など伝統工芸の技を用いたオリジナルの小物も豊富だ。彩り豊かなオリジナルの和菓子も評判。藩政時代の風情を伝えるひがし茶屋街の料理屋「十月亭」と提携。同店を新郎家に見立てて来客をもてなす「金澤町屋和婚」は、まるで二人の新居に招かれたような雰囲気と大好評。その演出は斬新なサプライズに溢れているが、上品で感動的。それは先人たちが伝えてきた「祝言」の形式への敬意を払い、そこに宿る人々の想いを理解したうえで表現しているからだ。同社の提案する和モダン美装コーディネートは、清楚さと華やかさを兼ね備え大変に評判。「金澤syugen」なら「婚礼の意義」を理解し、格調高い演出で感動的なウェディングを実現できる。



金沢泉野出町2-22-6 サンルックスビル2F ☎076-214-4555 営/10:00~19:00 休/火曜、木曜 P/お https://www.kanazawa-syugen.jp https://www.kanazawa-syugen.jp/ (ブログ)

◆◆ Information ◆◆
 【金澤syugen】では石川県の伝統工芸品にとどまらず、日本の伝統工芸に注目している。「石川の泉音」でもある格子戸を象った同社のシンボル柄の銀の帯飾りは、日本で第一人の鋳造(かざりかんざし)職人の三浦孝之さんが制作した。
 ■ひがし茶屋街花嫁行列と町屋祝言
 20名480,000円/ 貸屋プロデュース十月亭懐石料理・フリードリンク・和婚プロデュース・花嫁行列プロデュース・和モダンコーディネート・アテンダー・全館貸切り料を含む



上/感謝の品の椿柄の金澤modern九谷焼。右/アオリイカの白糖のしべは卵の糞身、椿の葉にウダースノー。テーマにそった料理プロデュースも。

